

アイデアが生まれ、育つ場所。

—書評『STARTUP STUDIO 連続してイノベーションを生む「ハリウッド型」プロ集団』—

「ベンチャー」「スタートアップ」という言葉はもうどこにいても聞こえてくるだろう。○才社長とか、女子高生社長とかもうそんなのには食傷気味、なんて人もいるのかもしれない。

そもそも「ベンチャー企業」なんて言葉は日本人が作ったものらしい。

(参考: <http://blog.btrax.com/jp/2013/04/22/startup-2/>)

参考 URL によれば、

スタートアップとは、

“一言で表現すると、“新しいビジネスモデルを開発し、ごく短時間のうちに急激な成長とエクジットを狙う事で一獲千金を狙う人々の一時的な集合体”である。”

そしてその存在意義は

““今までに無いイノベーションを通じ、人々の生活と世の中を変える事”である。”

そんな企業を「同時多発的に複数」立ち上げるのが、スタートアップスタジオである。スタジオ内には起業経験者だったり、マーケティングのプロだったりを抱え、プロジェクトごとにチームを組んで活動する。故に、「ハリウッド型」と副題がついている。このモデル事例を紹介しているのが本書である。

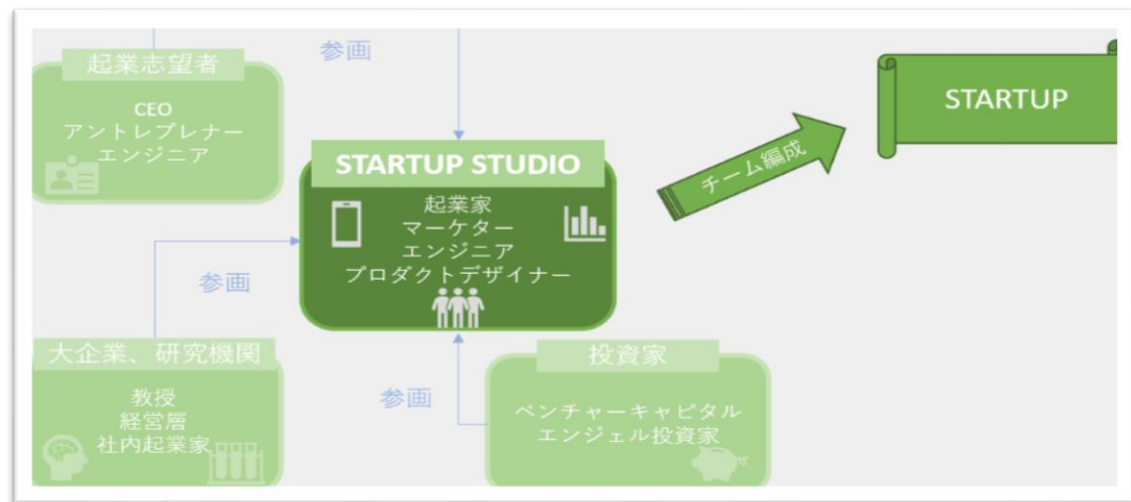
この本は以下のように展開する。

1. スタートアップスタジオの基礎知識
2. モデル事例×5
3. 運営・発展の原則
4. これからのスタートアップスタジオ

モデル事例には、「ほんとにそれ、うまくいったの？」って聞きたくなるような事例もあるが、基本的な知識だったり、貴重な経験を知ることができるという点で、他にはない本だと思う。

まずスタートアップスタジオとは上でも述べたが、スタートアップに必要な資金・インフラ・人材を保有している。その中で、事業アイデアを厳選し、可能性のありそうなものをプロジェクトのようにチームを組んで始めさせる。

簡単に言えば、こんな感じ。



成功すればイグジット、失敗すればチームごと撤退、それを繰り返す。

新企業の株式の多くをスタジオが保有することで、出資→回収→出資のサイクルを自社内で回していくのがスタートアップスタジオの特徴である。

具体的な事例はここでは省くが、米国・ハンガリー、オランダなどの事例が挙がっており、それぞれ風土・習慣、資金調達法、組織に異なった特徴を持っている。

スタートアップスタジオがアクセレーターやベンチャーキャピタルと違うのは、自身が経営に参画していくということだ。

多くの企業を立ち上げたいが資金やインフラがないといった起業家、資金出資だけでなく経営にも携わりたい投資家、もしくは自分の研究を事業にしたい大学教授だって参画可能である。誰だって好きなことができる。そんな場所に映る。

もちろん、スタートアップスタジオにも困難はある。最初の資金だ。自分が出資するのだから自分のもとに資金がなければ始まらない。事業の連続性はあるのか、同じチームでイノベーションは起り続けるのか。

まだ事業としては新しい形。これからの観察が必要である。

なぜ、この本を読んだか。目的意識がなければ、読書に意味はない。

この本の場合は、自分の将来の夢の形と近いからだ。ただ、それがイノベーションやビジネス、利益といったものではなく、教育・学習・キャリア・コミュニティであったりするだけである。

自分自身目標達成の一番の課題だと思うが、スタートアップスタジオもハリウッドのような形を目指すのであれば、ハリウッドのように名前だけで人が集まってくるような場所にしなければいけないということだ。しかもそれをスタートと同時並行で。

ただ、これがビジネスで成功するのであれば、教育で成功しないわけがない。自分の目標にも希望が見えた。

①

Facebook.Airbnb など人と人をつないで市場を作るプラットフォーム企業の成長を、新しい経済として考え、これからのデジタル未来を考える一冊。

②P.F ドラッカー『イノベーションと企業家精神』

[83%A7%E3%83%B3%E3%81%A8%E4%BC%81%E6%A5%AD%E5%AE%B6%E7%B2%BE%E7%A5%9E](https://www.amazon.co.jp/%E6%96%B0%E7%89%88-%E3%82%B6%E3%83%BB%E3%83%9E%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%97-%E3%83%88%E3%83%8B%E3%83%BC%E3%83%BB%E3%83%96%E3%82%B6%E3%83%B3/dp/4478017166/ref=sr_1_2?s=books&ie=UTF8&qid=1526181592&sr=1-2&keywords=%E3%83%9E%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%97)

トニー・ブザン『ザ・マインドマップ』

最近の自分の中ではまってる。マインドマップ。連想とつながりの意識がスタジオも出ると何となく似ている気がする。

https://www.amazon.co.jp/%E6%96%B0%E7%89%88-%E3%82%B6%E3%83%BB%E3%83%9E%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%97-%E3%83%88%E3%83%8B%E3%83%BC%E3%83%BB%E3%83%96%E3%82%B6%E3%83%B3/dp/4478017166/ref=sr_1_2?s=books&ie=UTF8&qid=1526181592&sr=1-2&keywords=%E3%83%9E%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%9E%E3%83%83%E3%83%97